

遠いからこそ、時間をかけてきたからこそ感じるものがある

# 二月六日 お燈まつり

和歌山県造形民俗文化財

熊野地方に春を告げるお燈まつりは、熊野速玉 大社摂社神倉神社の例祭で1400年以上の 歴史を有します。

毎年2月6日、白装束に荒縄を巻いた上り子が阿須賀神社から熊野速玉大社、妙心寺に参って神倉山に上ります。午後6時ごろ、迎火大たいまつなどを持った神官、介釈らが行列を組み神倉山に上ります。介釈とは、まつりに奉仕する氏子たちで、昔から大きな権限を持ってまつりの警備にあたってきました。

午後 7 時ごろ神倉山の神前で宮司によっておこされた火が大たいまつに移され、山で待機していた上り子たちのたいまつにも点火されると、猛煙となった火は天をも焦がすばかり。8 時ごろ木戸(山門)が開けられると、上り子はどっと外に出て538段の急な石段をわれ先にと競い、一気に駆け下ります。「お燈まつりは男のまつり」山は火の滝下り龍」という新宮節のとおり勇ましい熊野の火まつりが繰り広げられます。たいまつを持ち帰った男たちを女性が各家で「さかむかえ」という祝いの膳で迎えます。

お燈まつりは江戸時代までは1月6日に行われ、身を清めその年の平安を祈るまつりとして続いてきました。今年もたいまつを持った白装束の男衆

が街中にあふれ、炎の滝が神倉山を染めることでし

# お燈まつりを支えて・・・ 上道益大さん

上道さんの作るたいまつは、長さ85センチの特大から当日まつりに参加できない上り子に代わってご神火をいただく31センチの代参まで7種類。「最近は市外か



らの注文が多いですよ。5 5年こだわりを持って一本一本丁寧に作っています」という上道さん。

たいまつ用のヒノキの加工は9月ごろから始まり、 縄も編んでいるので、ほぼ1年中お燈まつりの仕 事に携わっているそう。「上り子が喜んでくれるのが うれしい。ただ、後継者がいないことが悩みです」と 語る上道さんは、今年も約800本のたいまつを 作るそうです。

上道さんは平成26年度和歌山県名匠に選ばれました。

# NEWSLETTER

# 新宮通信

**SNG4** 

<u>2015.</u> 1

# 知ってほしい!新宮市のこと

# ニュースレターをお届けします

新宮市は、自然と都市機能のバランスの良さ、コミュニティが存在するバランスのとれたコンパクトシティであり、東洋経済新報社の「住みよさランキング」の利便度で2012~2014年と全国2位です。(2010,2011年は1位でした)

今年、新宮市は旧新宮市と熊野川町が合併して 10 年となります。新しい 10 年を歩み出した私たち。 ぜひとも新宮を訪れてみてください。そして、あなたの お気に入りの「熊野・新宮」を見つけていただければ、 幸いです。



### ラインナップ

二月六日 お燈まつり・・・1

新宮城散策はいかが?

あるがままに・江戸千家流祖川上不白・・・2

冬~春へのお知らせ・・・3

昭和・粋な時代を駆け抜けた・・・4



# 昭和・粋な時代を駆け抜けた…

### 花街·大王地

木材の集積地として大変なにぎわいを見せていた新宮。昭和 30~40 年代、花街であった大王地は、木材業などの大旦那衆の交友の場所として活気にあふれ、お座敷の三味線や太鼓の音が朝まで響いていました。

その時代を過ごした浅井もと美さん(もんちゃん)、高橋美智子さん(みっちん)姉妹。5 人姉妹の長女、二女で、もんちゃんが昭和30年、みっちんが昭和32年に舞子となりました。

「私は2年間舞子として、置屋に奉公してから 5~6年芸者として働きました。その時代は、置屋が大王地に20軒くらいと検番が1軒ありました。 花街に入ったのは、みっちんの方が早かったんです」と、もんちゃん。

みっちんは、病気がちの父に代わり小学6年生から10年働いて家の借金を返したそうです。小、



芸者時代のもんちゃん(熊野速玉大社にて)

中学校の教育 費を置屋に毎 月支払いながら、 多額の借金をどうやって返していくのかと、子さも 心に不安もあったとのこと。けれ ども、そういう生 活をして、親いない といます。

置屋では、行

儀をきっちり教えられ、三味線のテストもありました。 「学校から帰ると、置屋の掃除や洗濯と夕方 5 時まで働きました。見習い期間が終わると、おかみさん連中とお師匠さんの並んでいる前で舞を踊る舞子の試験がありました。そこで、芸のある(踊りのできる)人と芸のない人で甲、乙と決まり、花代も変わってきました」とみっちん。

舞子は振袖とだらりの帯、履物はこっぽりという

京風のいでたち。しきたりも京都と同じで置屋では「おはよう」と、おかみさんにあいさつして火打ちをしてもらってから出掛けます。

「舞子には自由な時間がなく、お客さんに花代を付けてもらわないと、どこにも行けませんでした。 映画に行くのも花代を付けてもらってから。今の人は辛抱できないでしょうね」ともんちゃん。



もんちゃん(右) とみっちん

#### 粋な時代を生きて

りり小学6年生 大旦那衆が大きなお座敷で宴を開き、舞子と たそうです。小、 芸者さんが三味線をひいて踊って興を添える粋な 中学校の教育 時代。そのころは100人近い芸者がいて著名 費を置屋に毎 人の接待もお座敷でした。市外にも呼ばれ、毎日 月支払いながら、 予約がびっしり入っていたそうです。

みっちんは「佐藤春夫先生の前で詩を朗読したことがありました。先生が名誉市民になられた後のお座敷に呼ばれ『先生、朗読していいですか?』と言って『水邊月夜の歌』を朗読したところ、先生は大変喜んでくれました。20歳のころですが、その詩は今でも朗読できます」。

みっちんは、昭和 55 年、39 歳で芸者を退き 自分の店を開きました。その時新宮の芸者は 15 人くらいになっていたそうです。「考えてみたら、いい 時代を過ごしてきました。 著名人にも大事にしても

らって・・・」と2人。 大変な苦労をした にもかかわらず、粋 な時代をともに生 きてきたことに誇り を持っている姉妹。 まさしく昭和の時 代を駆け抜けまし た。



16歳の舞子時代のみっちん

明治・大正・昭和を見てきた川原家を模した 川原家横丁。 そこにスペイン直輸入のお店が

かつて熊野川の川原にあった川原町。そこには、 川が増水すると折りたたんで町に引き上げ、水が 引くとまた元の形を復元していた川原家がありました。明治末期から大正初期は、300 軒近くあり、 大正期は、船宿、米屋、鍛冶屋など約120軒 あったそうですが、昭和25年消滅しました。

熊野速玉大社近くでその「川原家」を模した5 棟が並ぶ川原家横丁が平成19年にオープン。 昨年約3年半ぶりにすべての店舗が開店しました。

その中にスペイン人アルフォンソさんが経営するお店があります。1993年に「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路」としてユネスコの世界遺産に登録された道は、アルフォンソさんの実家の近くを通っているとのこと。紀伊山地の霊場と参詣道と並び、世界でも珍しい道の世界遺産として知られています。

アルフォンソさんは馬専門の獣医ですが、合気道を学ぶため来新。そして巡礼の道を通して熊野と縁があることからこの店をオープン。スペイン産のワインやオリーブオイル、生ハムなどを取り扱っています。

春からは店舗横にテーブル席も設け、軽食を提供する予定だそうです。

# 問·Casa Kumano☎080·9740·2231



新宮市からのお知らせをお届けしました。まだまだ、新宮市の魅力はいっぱいあります。 不定期でのお届けとなりますが、次の新宮市ニュースレターをお楽しみに!

発行:新宮市協働推進課

**☎**: 0735•23•3333

Mail:kyoudou@city.shingu.lg.jp

#### 新「かあちゃんの店」もうすぐ!

平成 23 年 9 月の台風 12 号によりすべてが流されてしまったかあちゃんの店(熊野川町田長)。現在、仮設店舗で営業しています。みそ、九重茶など加工品のほか新鮮な野菜など。もちろん、めはり、おまぜ、なれずしもあります。

地元の明るく元気なお母さんたちの作る食材と 大自然の恵みをぜひ、ご賞味あれ!2月には新 規店舗で営業の予定です!お楽しみに~

# 



# 新宮冬の味覚「さんまずし・なれずし」

当地方に古くから保存食として伝わる「なれずし」は、鮎やサンマなどで作り、酢を用いず発酵させ独特の旨味をかもしだしています。

サンマは、三陸沖から寒流にのって熊野灘に南下し、長い間、潮にもまれることから肉は引きしまり油も落ち、お正月には最高の寿司魚として珍重されています。2月21日には熊野川開発センターで家庭のなれずしを持ち寄り、品評するなれずし交流会が開かれます。



# 川の古道・熊野川で古の旅人に

平成 23 年台風 12 号の被害を受け休止しましたが、平成 24 年 4 月より運行再開。

昔、熊野川は、この地方の大切な生活道であったと同時に、熊野詣でのための「参詣道」でもありました。川の両岸のあちこちにある形の変わった岩は、12世紀には「熊野権現の持ち物」とみなされ骨嶋・釣鐘石・屏風石・貝持嶋などと名前やそれ

にまつわる話が付けられ、川を行き来する熊野詣 での人たちを楽しませました。

熊野古道を歩いた後は、川舟で古の旅人のように癒やされてみませんか。世界遺産の川舟下りは新宮だけです。

※1~2 月は冬季運航のため6名以上の団体予約のみ。3月より定期運航開始。

#### 問・熊野川川舟センター20735・44・0987



### 愛嬌ある大威徳明王御正体(懸仏)

阿須賀神社の祭神は事解男命(ことさかのおのみこと)で、古くから熊野三山の神をまつり、平安時代から「阿須賀王子」とされました。同神社の御正体は、平安から室町時代にかけてのもので、昭和34年に社殿南麓の蓬莱山より発見し、約200点にも及びます。(県指定文化財)。それらは、歴史民俗資料館(同神社境内)に常設展示しています。

中でも大威徳明王懸仏は、阿須賀神社の本地仏を表しています。鎌倉時代(13世紀後半)の優れた遺品。蓬莱山出土御正体の中では最大のもので、失われた鏡面の直径は60センチ程度はあったと思われます。

また、同神社境内で発見された弥生式竪穴住 居跡も境内内にあります。(市指定文化財) 歴史民俗資料館:入館料 210円 問・文化振興課金0735・23・3368



#### 高田川のネコヤナギ

最近あまり見かけなくなったかも?ネコヤナギ。 自然あふれる高田川沿いでは、2月下旬~3 月上旬にかわいい姿が見られます。

近くには、ゲルマニウムを含んだ露天風呂のある 天然温泉「雲取温泉」高田グリーンランドがあり、 宿泊もできます。販売している温泉水も人気です。

(高田グリーンランド☎0735・29・0321)



### 水に浮く「泥炭」からできている・浮島の森

浮島は国内にいくつかありますが、新宮のような 温暖で海抜数メートルという低地に大きな森となっ ているものは大変珍しいといわれています。

現在、森には約130種の植物があります。 特に、冷温体系植物の大ミズゴケやヤマドリゼンマイと亜熱帯・熱帯系植物のテツホシダが混生しているというほかにない生態系が貴重。

国天然記念物。南紀熊野ジオパークのジオサイト。



問:商工観光課公 0735·23·3357

#### 白装束を着た日本酒

お燈まつりの白装束を着た日本酒!素敵ですね。ディスプレイにも最適。店長のアイデアで毎年大人気です!

問・みゆきや☎0735・23・1006





新宮城散策はいかが?

1601 年、この地域を治めた浅野忠吉によって 建設が進められた新宮城は、途中「一国一城令」 による取り壊しや浅野氏の国替えも乗り越え、紀 州藩附家老水野氏の城として 1633 年に完成。 当時は水をたたえたお堀もありました。水野氏は、 初代重仲から 10 代忠幹まで約 250 年間にわた り新宮領内を治めました。

新宮城は、本丸・鐘ノ丸などを高台に二ノ丸を 平地に配した平山城です。石垣は地元の熊野酸 性火成岩を用いた「切込みハギの布積」がほとんど の美しい石積み。3月末から4月上旬はお花見 スポットとしても人気です。

平成15年8月27日、「新宮城附水野家 墓所」は国指定史跡となりました。

# ~お城あれこれ・・散策してね~ 水ノ手郭

熊野川に面して港があり、ここから炭納屋跡が 発見されました。熊野川流域で焼かれる備長炭 (新宮炭)を専売していた水野氏の経済活動を 知ることのできる貴重な遺跡として評価されています。



## ケーブルカー軌道跡

昭和 29 年 5 月、新宮城跡に建設された二の 丸旅館のケーブルカー。下の案内所から約 100m の軌道を上下し、定員は 10 名。駅間距離はたっ たの 88mでしたが、運輸省の許可を受けた立派 な鉄道で、当時としては日本一短い鉄道でした。 新宮城跡への観光客にも利用されました。

昭和 55 年 11 月に美智子妃殿下来新の際 の運転が最後となりました。





#### 台守天

かつてはこの石垣の上に天守閣がありました。石 垣は昭和 20 年代に崩れてしまったため、今は遊 歩道になっています。



石垣の刻印(石垣の石材に刻まれた符号)

○に点や△に横一、大の文字など刻印が見ら れます。



矢の跡

石は「矢(クサビ)」を打ち込んで割ります。そ の跡(矢穴)をあちこちに見ることができます。



# あるがままに・・・江戸千家・川上不白

川上不白は、享保4年(1719)新宮城 下池田で、新宮水野家家臣川上六太夫の次男 として生まれ、文化4年(1807)江戸の水 野家下屋敷の隠宅・蓮華庵で亡くなりました。

不白の父は、江戸から新宮池田にあった役所 に赴任。そこで不白が生まれたといわれています。 当時の池田港は、大阪から江戸へ向かう廻船の 立ち寄った場所で大いににぎわいました。熊野川 上流で切り出された木材や炭なども池田に集積し 出荷。まさしく海と川を結ぶターミナル、水野家の 重要な港湾でありました。

不白は15歳の時、京都の表千家7世の天 然如心斎宗左に入門。門下生の中でも抜群の 力量で、32歳の時師如心斎より千家茶道奥 義の伝授を受け、江戸へ旅立ちました。江戸では、 不白の努力により田沼意次や大名の嶋津氏、毛 利氏などが次々と入門、千家が江戸の茶道の中 心となりました。その後、不白は茶道表千家から出 て江戸千家を創始しました。

不白は、何事も自然に常の心を失わない『常 (つね) 』の一字を悟った茶人として、生涯茶の 湯の基本とした人です。さらに、この精神を体得す るため、俳諧により多くの俳人と交わりました。

新宮市内では本廣寺に不白建立の「書写妙 法蓮華経印塔 | があります。(和歌山県文化 財) 新宮城には、不白を顕彰した「清風生蓬莱」 と刻まれた碑が建立されています。





不白顕彰碑